



横浜市立川和東小学校 学校便り

Create

「創造する子」【自分・仲間・学校・まち・夢を創る】

夏休み号

発行日
2019年
7月19日

～自分・仲間・学校・まち・夢を創る～
～「創造する子」未来への挑戦～

子どものがんばりを認める声かけ

横浜市立川和東小学校
教務主任 井上 晋吾

いよいよ子どもたちにとって楽しみな夏休みが始まります。

7月から行われた三者面談では、今までの学習や生活をふり返り、成長を認めつつ、これからの更なるがんばりにつなげていく機会になったのではと思います。

これまでの子どもたちの学校生活をふり返って感じることは、子どもたちの「がんばり」です。子どもたちは毎朝、時間に遅れないように登校します。登校したら荷物を整理して、席につきます。1時間目、2時間目、中休みと時間を守って行動します。給食の時間には給食当番、掃除の時間にはみんなで掃除をします。高学年になるとその合間に委員会活動もあります。さらに6年生はたてわり活動で、他学年の子たちが活動を楽しめるように声をかけていきます。

どれも「当たり前」のことかもしれませんが、しかしその「当たり前」を「当たり前」のように活動することが実はすごいことです。そこにも子どもたちの「がんばり」があります。

しかしその「がんばり」よりもついつい課題が気になり、注意ばかりしてしまうことはないでしょうか。時には課題を指摘し、改善に向けて声をかけていくことも大切です。でも注意ばかりだと子どもはどんどん自信を失い、自分のことを認めてくれないとマイナスな思考へと進んでしまいます。周りの大人が、「掃除をするのが当たり前」ではなく、「みんなのためにきれいにしてくれてありがとう」と声をかける。このように子どもたちのがんばりを認めていくことも大切なことではないかと思えます。

子ども一人ひとりのよさを生かし、当たり前の行動を価値付けていくことが、子どもの自信につながり、次へのステップとなるのではないのでしょうか。

夏休みは、夏休み明けのスタートに向けて新たに準備をする絶好のチャンスです。どんな声かけをしていくのか、学校でも家庭でも大切なポイントかと思えます。これからも子どもへの声かけを大切に、保護者の方々と子どもの可能性を伸ばしていくことができればと思います。

また夏休みは地域の夏祭りなどのイベントに参加したり、旅行にでかけたりと、普段経験できないような体験をすることができます。その反面、規則正しい生活リズムを崩しやすくなります。さらに海や山の事故、交通事故、熱中症といった子どもの命にかかわる心配もあります。ご家庭でも夏休みの過ごし方についてお話ししてください。

熱中症予防など健康管理に気を付けて、全員が笑顔で登校し、夏休みの経験が今後の学校生活をさらに充実させることにつながってほしいと思います。

学校便りは、本校ホームページでもご覧いただけます。あわせてご覧ください。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawawahigashi/>